



2021年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 東洋ドライルーブ株式会社

上場取引所 東

コード番号 4976 URL <https://www.drilube.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯野 光彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 鈴木 茂生

TEL 03-3412-5711

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

2021年3月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年6月期第2四半期の連結業績(2020年7月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第2四半期	3,053	1.8	171	6.5	284	11.9	200	5.6
2020年6月期第2四半期	2,999	11.2	183	13.3	254	28.0	190	38.9

(注) 包括利益 2021年6月期第2四半期 190百万円 (61.6%) 2020年6月期第2四半期 117百万円 (52.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年6月期第2四半期	151.77	
2020年6月期第2四半期	143.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年6月期第2四半期	9,323	7,418	79.6	5,603.27
2020年6月期	8,911	7,281	81.7	5,499.40

(参考) 自己資本 2021年6月期第2四半期 7,418百万円 2020年6月期 7,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年6月期		20.00		20.00	40.00
2021年6月期		20.00			
2021年6月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日～2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,108	8.2	334	63.7	582	69.7	430	64.8	324.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、2021年2月10日公表の「2021年6月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期2Q	1,355,000 株	2020年6月期	1,355,000 株
期末自己株式数	2021年6月期2Q	30,967 株	2020年6月期	30,967 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期2Q	1,324,033 株	2020年6月期2Q	1,324,033 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年7月1日～2020年12月31日)における世界経済は、米国では実質GDPがコロナ前の97%まで回復し、今後もプラス成長が続く見込みですが、新規感染者数急増により成長ベースの鈍化が予想されます。また欧州EU27ヵ国の実質GDPはコロナ前の96%に持ち直したものの、感染再拡大により外出制限が再導入され再びマイナス成長に戻る見込みです。一方で中国の実質GDPはコロナ危機前の成長率に近づいており、他の主要国に先んじて回復局面に移行しています。

日本の実質GDPはコロナ危機前の96%まで持ち直し、設備投資は減少が続いたものの、個人消費が大きく増加したほか、輸出も増加しました。目下、新型コロナウイルスの感染第3波を迎えています。ペースを落としながらも回復は続く見込みです。この様な状況の下、景気の基調判断は「新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる」に据え置かれました。

この間の当社グループを取り巻く事業環境は、鉱工業生産出荷が5ヵ月連続で増加し、在庫が2014年以来の低水準となっています。業種別では、自動車機器がコロナ前の水準まで回復し、電子部品は高水準で推移しています。当社グループの受託額は自動車機器業界からは増加、光学機器業界は減少、電気・電子部品業界は微減となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループ業績につきましては、売上高は3,053百万円(前年同期比1.8%増)、営業利益は171百万円(同6.5%減)、経常利益は284百万円(同11.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は200百万円(同5.6%増)となりました。営業利益につきましては、当該期間の製品売上構成比率が変動したことなどを一因として前年同期比減益、そして経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、この期間の助成金収入(同36百万円増)及び持分法による投資利益(同23百万円増)の増加などが増益要因となっております。

当第2四半期連結累計期間における営業概況は、次の通りです。

当社グループの主要販売先である自動車機器業界向けが、前年同期比10.0%の増収。光学機器業界向けは、前年同期比29.7%の減収。電気・電子機器業界向けは、前年同期比2.7%の減収となりました。この結果、ドライループ事業の売上高は3,053百万円(前年同期比1.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ411百万円増加し、9,323百万円(前期末比4.6%増)となりました。これは主に、受取手形及び売掛金344百万円の増加、関係会社出資金56百万円の減少、現金及び預金53百万円の増加、有形固定資産34百万円の増加等によるものです。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ273百万円増加し、1,904百万円(前期末比16.8%増)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金162百万円の増加、未払法人税等82百万円の増加、長期借入金41百万円の減少等によるものです。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ137百万円増加し、7,418百万円(前期末比1.9%増)となりました。これは主に、利益剰余金147百万円の増加、為替換算調整勘定10百万円の減少等によるものです。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は79.6%(前期末は81.7%)となりました。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ372百万円増加し、4,060百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主たる増減要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は、300百万円（前年同期における営業活動により得られた資金は271百万円）となりました。これは主に、資金流入では税金等調整前四半期純利益283百万円、仕入債務の増加額160百万円、減価償却費113百万円、資金流出では売上債権の増加額342百万円、持分法による投資利益67百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により得られた資金は、139百万円（前年同期における投資活動により使用した資金は350百万円）となりました。これは主に、資金流入では定期預金の払戻による収入680百万円、資金流出では定期預金の預入による支出363百万円、有形固定資産の取得による支出149百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により使用した資金は、70百万円（前年同期における財務活動により使用した資金は81百万円）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出41百万円、配当金の支払額26百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月10日付「2021年6月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しましたとおり、2020年8月7日に公表しました2021年6月期の業績予想を上方修正いたしました。

今後の景気シナリオとしては、新型コロナウイルス感染と共生しながらの回復を想定しますが、感染が広がる度活動制限によって回復にブレーキがかかり、感染拡大が一服すると再び持ち直すパターンが繰り返されると考えます。

当社の第2四半期会計期間以降につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の他、深刻化する米中両国の分断等、不透明な業況を有しているものの、自動車機器関連の受注回復が見込まれます。この結果、売上高は当初予想より459百万円増加して6,108百万円となる見通しです。売上高が増加することにより営業利益は当初予想より160百万円増加し334百万円となる見込みです。経常利益は持分法適用会社の投資利益の増加により582百万円（当初予測比250百万円増）及び親会社株主に帰属する当期純利益は430百万円（同202百万円増）となる見通しです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,534,902	4,588,614
受取手形及び売掛金	762,799	1,107,079
商品及び製品	64,075	69,858
仕掛品	21,969	25,656
原材料及び貯蔵品	125,984	135,963
未収還付法人税等	1,262	-
その他	33,673	33,004
貸倒引当金	△3,608	△3,692
流動資産合計	5,541,059	5,956,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,141,891	2,145,568
減価償却累計額	△1,443,475	△1,477,522
建物及び構築物 (純額)	698,416	668,045
機械装置及び運搬具	2,083,910	2,135,792
減価償却累計額	△1,774,841	△1,835,237
機械装置及び運搬具 (純額)	309,068	300,554
工具、器具及び備品	239,218	251,483
減価償却累計額	△210,642	△217,057
工具、器具及び備品 (純額)	28,575	34,426
土地	1,201,449	1,268,092
建設仮勘定	6,367	7,268
有形固定資産合計	2,243,878	2,278,388
無形固定資産		
ソフトウェア	28,627	36,146
のれん	79,643	69,024
無形固定資産合計	108,271	105,171
投資その他の資産		
投資有価証券	48,337	48,269
関係会社出資金	822,651	765,968
繰延税金資産	38,257	50,858
その他	109,470	118,293
投資その他の資産合計	1,018,717	983,389
固定資産合計	3,370,867	3,366,949
資産合計	8,911,927	9,323,433

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	387,661	550,114
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	343,200	343,200
未払金	45,581	44,704
未払費用	43,674	55,329
未払法人税等	5,031	87,438
賞与引当金	21,698	34,160
その他	52,852	94,016
流動負債合計	999,700	1,308,964
固定負債		
長期借入金	333,500	291,900
退職給付に係る負債	163,814	173,436
長期未払金	123,561	123,234
その他	9,958	6,987
固定負債合計	630,834	595,559
負債合計	1,630,534	1,904,523
純資産の部		
株主資本		
資本金	375,956	375,956
資本剰余金	454,760	454,760
利益剰余金	6,435,963	6,583,948
自己株式	△11,567	△11,567
株主資本合計	7,255,112	7,403,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,194	4,063
為替換算調整勘定	22,084	11,748
その他の包括利益累計額合計	26,279	15,811
非支配株主持分	0	0
純資産合計	7,281,392	7,418,909
負債純資産合計	8,911,927	9,323,433

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
売上高	2,999,407	3,053,020
売上原価	2,329,791	2,409,841
売上総利益	669,616	643,179
販売費及び一般管理費	485,885	471,465
営業利益	183,730	171,713
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,567	6,196
為替差益	21,501	-
持分法による投資利益	43,656	67,192
助成金収入	37	36,441
その他	3,257	15,331
営業外収益合計	72,020	125,161
営業外費用		
支払利息	1,311	1,354
為替差損	-	11,220
その他	328	63
営業外費用合計	1,639	12,637
経常利益	254,110	284,237
特別利益		
固定資産売却益	-	72
特別利益合計	-	72
特別損失		
固定資産除却損	82	311
特別損失合計	82	311
税金等調整前四半期純利益	254,028	283,998
法人税、住民税及び事業税	64,187	95,590
法人税等調整額	△525	△12,543
法人税等合計	63,662	83,047
四半期純利益	190,366	200,951
非支配株主に帰属する四半期純利益	17	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	190,348	200,946

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	190,366	200,951
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,961	△131
為替換算調整勘定	△55,159	13,761
持分法適用会社に対する持分相当額	△24,302	△24,102
その他の包括利益合計	△72,500	△10,472
四半期包括利益	117,865	190,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,865	190,478
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	254,028	283,998
減価償却費	104,546	113,124
のれん償却額	10,619	10,619
持分法による投資損益(△は益)	△43,656	△67,192
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	28
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,536	12,472
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,248	9,622
受取利息及び受取配当金	△3,567	△6,196
支払利息	1,311	1,354
為替差損益(△は益)	△22,013	10,474
固定資産除売却損益(△は益)	66	239
売上債権の増減額(△は増加)	△72,769	△342,843
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,737	△19,185
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△5,673	△6,925
仕入債務の増減額(△は減少)	23,745	160,104
未払消費税等の増減額(△は減少)	△807	19,033
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△13,374	29,741
その他	△3,454	2,248
小計	231,049	210,717
利息及び配当金の受取額	105,570	105,882
利息の支払額	△1,299	△1,332
法人税等の支払額	△63,607	△14,396
営業活動によるキャッシュ・フロー	271,713	300,871
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△654,208	△363,000
定期預金の払戻による収入	366,000	680,385
有形固定資産の取得による支出	△61,139	△149,895
有形固定資産の売却による収入	—	72
無形固定資産の取得による支出	△2,527	△22,502
その他	1,441	△5,254
投資活動によるキャッシュ・フロー	△350,433	139,804
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△53,025	△41,600
配当金の支払額	△26,480	△26,480
その他	△2,473	△2,639
財務活動によるキャッシュ・フロー	△81,978	△70,720
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20,377	2,915
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△181,076	372,871
現金及び現金同等物の期首残高	3,790,859	3,687,838
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,609,782	4,060,710

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(損益計算書)

第1四半期連結累計会計期間より、事業損益管理を見直し、従来、「販売費及び一般管理費」として計上していた人件費等を含めた諸経費の一部を、「売上原価」として表示することとしました。

この変更は、2020年7月に実施した組織変更により、品質管理部門の機能を強化した結果によるものであります。

この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において「販売費及び一般管理費」22,606千円を「売上原価」へ組替えております。

また、前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めて表示しておりました「助成金収入」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より区分掲記しております。なお、前連結会計年度の「助成金収入」は37千円であります。